

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

ニュースレター

～働きやすい環境づくりのために～

2024年3月

Vo.10



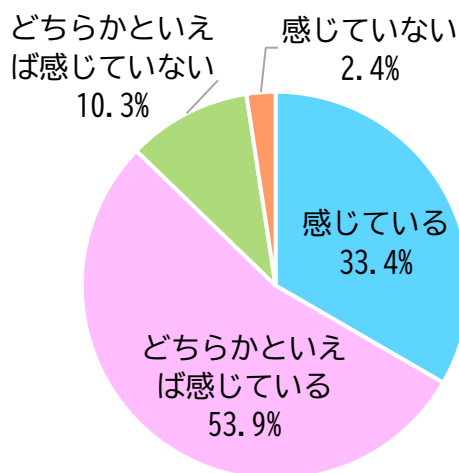
新玉ねぎ

教職員の勤務実態アンケートについて

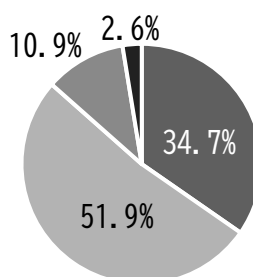
先生方におかれましては、今年度も『教職員の勤務実態アンケート』へご協力いただき、大変ありがとうございました。本年度は、全体で3,276人（8割弱）の先生方からご回答いただきました。業務毎の従事時間や負担感など現在の勤務の状況調査とともに、先生方個人の働き方改革の取組やご意見を聞くことができました。

今回は、意識に関する調査項目の中からいくつか結果をお知らせします。

1 現在の仕事にやりがいを感じていますか。



【参考】R4年度

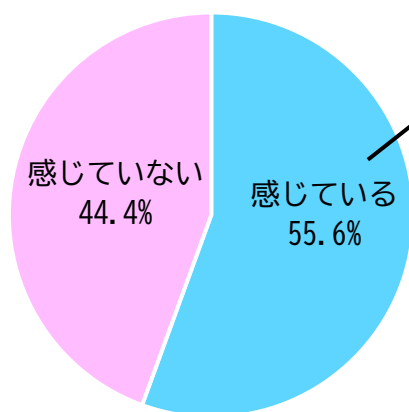


意識面の調査につきましては、令和3年度より市立学校全教職員を対象に実施しており、今年度3回目となります。

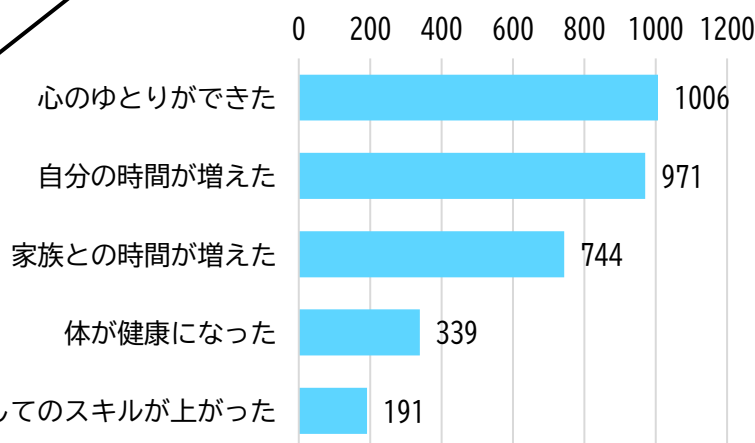
仕事に対するやりがいを問う質問に対しては、毎年度全体の9割近くの方が、やりがいを「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答しています。多くの先生方が、使命感と誇りをもって仕事に取り組んでいるのだと感じます。

2 どのようなことで働き方改革の効果を感じていますか。

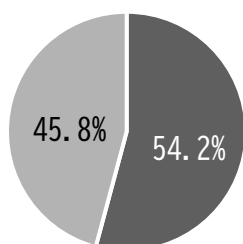
・効果を感じているか



効果の内訳（のべ3,251回答）



【参考】R4年度



3,276人中1,820の方が、働き方改革について何らかの効果を感じていると答えていました。昨年度と比較すると、割合として約1ポイント増加しています。また、効果の内訳としては「心のゆとりができた」「自分の時間が増えた」と回答された方が多く、物理的・精神的ともに効果を感じている方が増加していることがわかります。

アンケート結果の詳細は、今後さらに分析を進め、来年度5月の教育委員会会議報告後、熊本市ホームページへ掲載します。

[教職員の働き方改革について（熊本市ホームページ）](#)

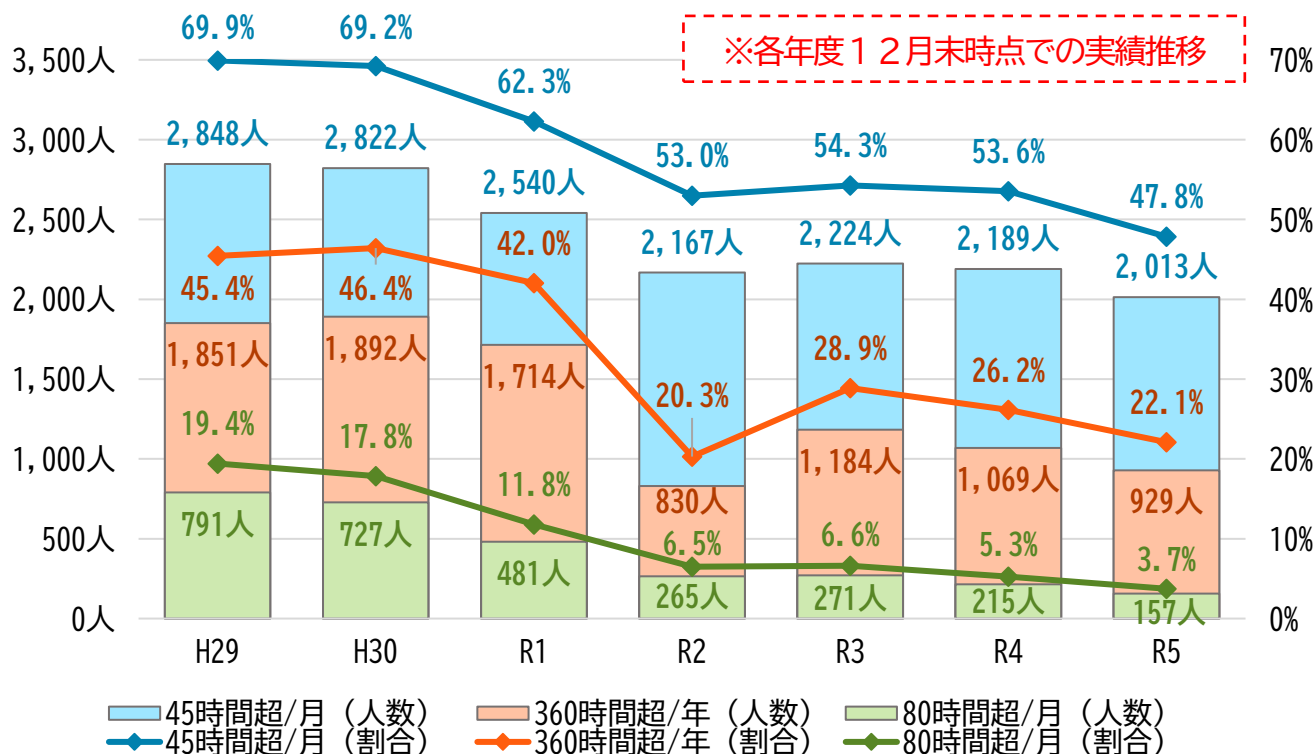
教職員の時間創造プログラム目標達成状況（R5.12月末時点）

正規の勤務時間外の在校等時間について

【目標 1】正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数 0人

【目標 2】正規の勤務時間外の在校等時間が1年間360時間を超える教職員数 0人

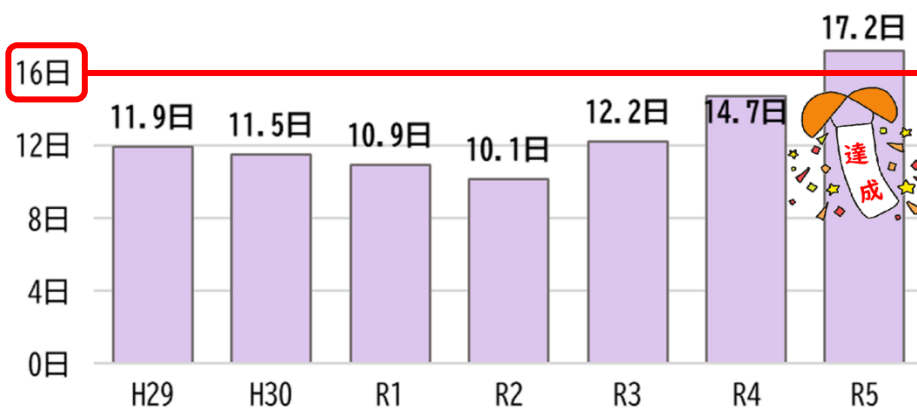
【当面の目標】正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数 0人



月45時間・年360時間・月80時間を超える教職員の人数及び割合については、取組開始の平成29年度12月末時点と比較すると大きく減少しています。また、コロナ禍により休校措置のあった令和2年度から令和4年度の3年間は、ほぼ横ばいの状況でありましたが、今年度は昨年度と比較してもさらに減少しており、取組の効果が表れているものと考えられます。

年休取得について

【目標 3】教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数 16日以上



年休取得状況については、平成29年から減少傾向にありましたが、令和3年から増加に転じています。令和5年は、平均17.2日と目標を達成しました。

年休の付与期間変更（1-12月⇒9-8月）や管理職による積極的な呼びかけ、学校閉庁日の増加などの効果が表れたものと考えられます。

いつも『ニュースレター』を読んでいただき、ありがとうございます。今後も、各学校での特色ある取組事例をはじめ先生方の参考になるような情報を発信していけるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

